

道徳の時間の授業の課題

- 1 教師の一方的な指導や一問一答の繰り返しなど、生徒が自分自身についてより深く見つめたり、人間としての生き方について深く考えたりすることができない授業が見られます。
- 2 「道徳の時間」で生徒指導を行っている授業が見られます。
- 3 マスコミの報道や社会情勢の影響を受けて、情報を資料化し、指導計画を安易に変更する授業が見られます。

授業改善のための取組として（案）

□ 指導過程や指導方法を工夫しましょう。

- 導入、展開、終末の指導過程の各段階において、次のような工夫をする。

導 入	動機付けを図るため、学校行事での体験活動を振り返らせたり、絵や実物を提示したりする。
展開前半	価値の大切さについて考えさせるため、登場人物の生き方について自分と比較して考 させる。 *資料を用いて
展開後半	自己の生き方について深く深させるため、自分の生き方を振り返らせたり、友だちのよさに気付かせたりする。 *資料から離れて
終 末	意欲化を図るため、説話や手紙、地域人材を活用するなどして、児童が自分自身を振り返ったり考えを深めたりできるようにする。

- 生徒の悩みや心の揺れを引き出す発問を工夫したり、生徒の意見等を板書で対比的・構造的に示したりするなどして、話し合いを深める。
- 発表や役割演技、書く活動を取り入れるなどして、自分の考えを表現する場を設ける。

□ 「私たちの道徳」を積極的に活用しましょう。

- 「私たちの道徳」の活用を年間指導計画に位置付けて、計画的に活用する。
- 「道徳の時間」の指導過程において、次のような活用の手立てを工夫する。
 - ・ 導入：「私たちの道徳」に掲載されているイラストや写真を用いて、主題への関心を高める。
 - ・ 展開：「私たちの道徳」のページに記入するなどして、自分の思いや考えを深める。
 - ・ 終末：「私たちの道徳」に掲載されている名言や詩などを用いて、学習したことを明確にする。

□ 年間指導計画に基づいた指導をしましょう。

- 変更や修正を行う場合は、道徳性の育成という観点から考えて、より大きな効果が期待できるという判断を前提として、少なくとも学年で検討したり、事前に管理職に報告したりするなど慎重に行う。
- 変更した場合は、理由などを備考欄に記入し、今後の検討課題にする。

□ 「道徳の時間」の授業を積極的に公開し、授業改善をしましょう。

- 「道徳の時間」の授業公開を学校の年間計画に位置付け、保護者だけでなく、地域の人々にも呼びかけて、多くの参観を得られるような工夫をする。
- 「道徳の時間」の授業の印象や児童の様子について参観者へのアンケートを行うなどして、学校全体の道徳教育や「道徳の時間」の授業改善に生かす。